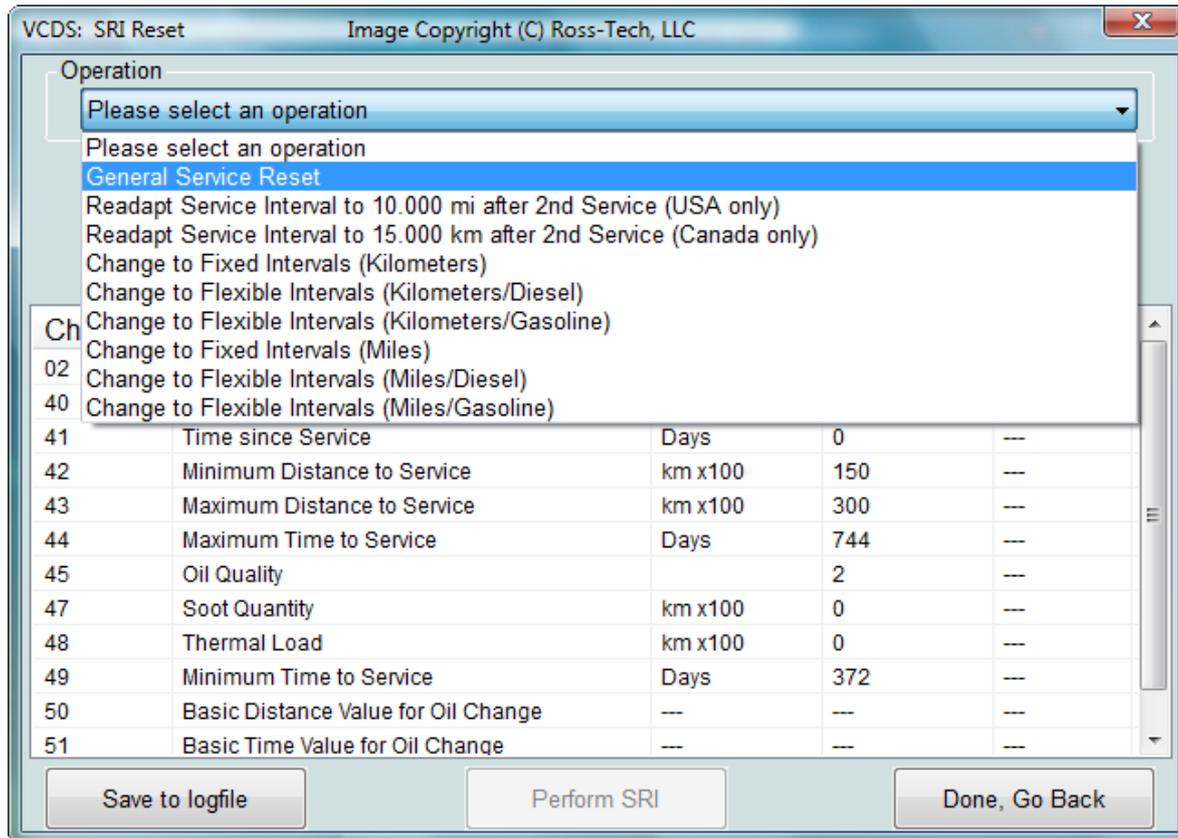


サービスリマインダーのリセット SRI リセット機能

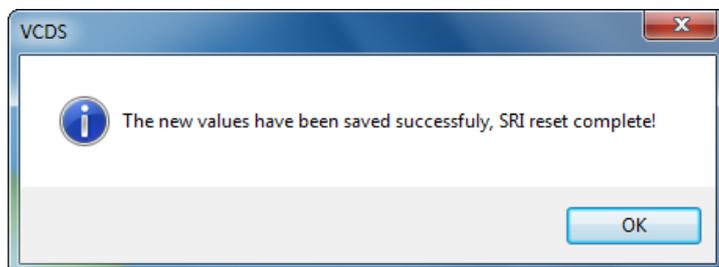
RossTech および SecondWind は以下の操作の結果起こりうるいかなる不具合、故障について責任を負いません。必ずディーラーのリペアマニュアルを参照して、個人の責任の元に以下の操作は行ってください。

VCDSを車両につなぎ、[SIR Reset] ボタンをクリックします。VCDSは 17-Instrument cluster から自動的に必要な情報を読み取ります。これが終了すると、下のような画面が開きます。



上部のドロップダウンメニューから必要な操作を選択します。通常は[General Service Reset / Simple Service Reset / Basic Service Reset] を選択し、[Perform SRI] をクリックすると、VCDSが 17-Instrument Cluster 内の数値を自動的に更新します。

下のような確認メッセージが出たら、[OK] をクリックします。

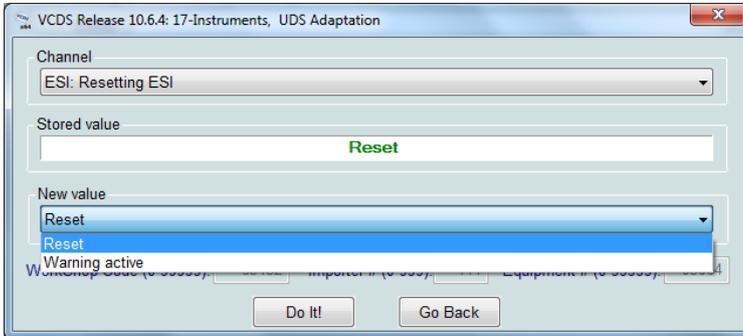


※2008 年式以降の Audi 車の多くは[General Service Reset / Simple Service Reset / Basic Service Reset] が使用できません。この場合は、メニューの中から、当該地域(日本の場合は Rest of World / ROW)の個別のメニューを選択しなければなりません。

2010 年式以降の VW / Audi 車の多くは、以前とは異なるタイプの Adaptation Channels (アダプテーションチャンネル)が使われています。この場合は、直接 17-Instrument Cluster にアクセスし、オイル交換、距離、時間などのデータを更新する必要があります。

■オイル交換時期

[17 - Instruments] > [Adaptation - 10] > 上部のドロップダウンメニューから "ESI: Resetting ESI" を選択します。

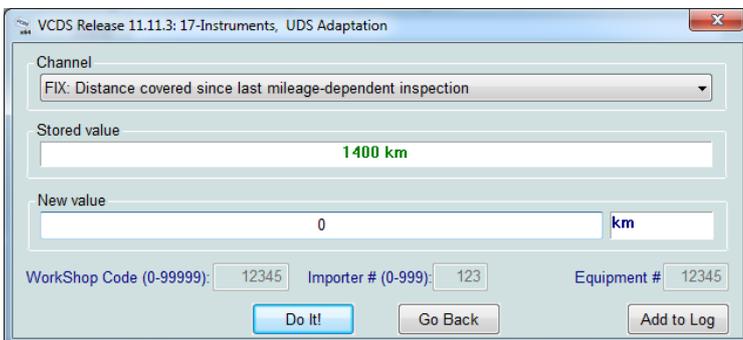


下側のドロップダウンメニューから [Reset] を選択します。 > [Do It!].

■走行距離 日数によるサービスリマインダー (Distance based Service Intervals Time based Service Intervals)

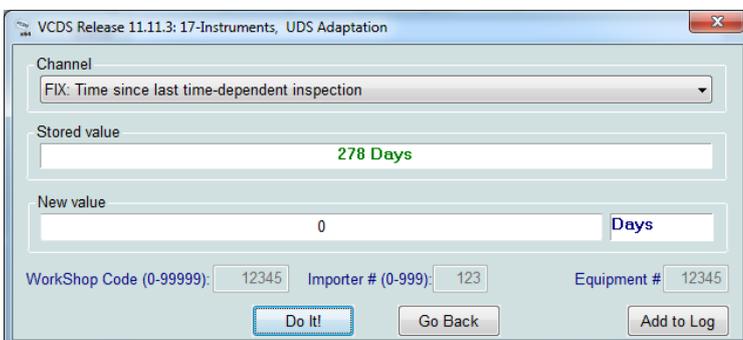
車種、年式、仕様によっては一定の走行距離、日数を経過するとサービスリマインダーが表示されます。以下はこれをリセットする手順です。

[17 - Instruments] > [Adaptation - 10] > 上部のドロップダウンメニューから FIX: Distance covered since last mileage-dependent inspection を選択します。



New Value に 0 を入力します。 > [Do It!]

次に FIX: Time since last time-dependent inspection を選択します。



New Value に 0 を入力します。 > [Do It!]

イグニッション再起動後するとサービスリマインダーの表示は消去されます。